

連結決算補足説明資料

2025 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）

（2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）

2024 年 10 月 30 日

（証券コード：9640）

株式会社セゾンテクノロジー

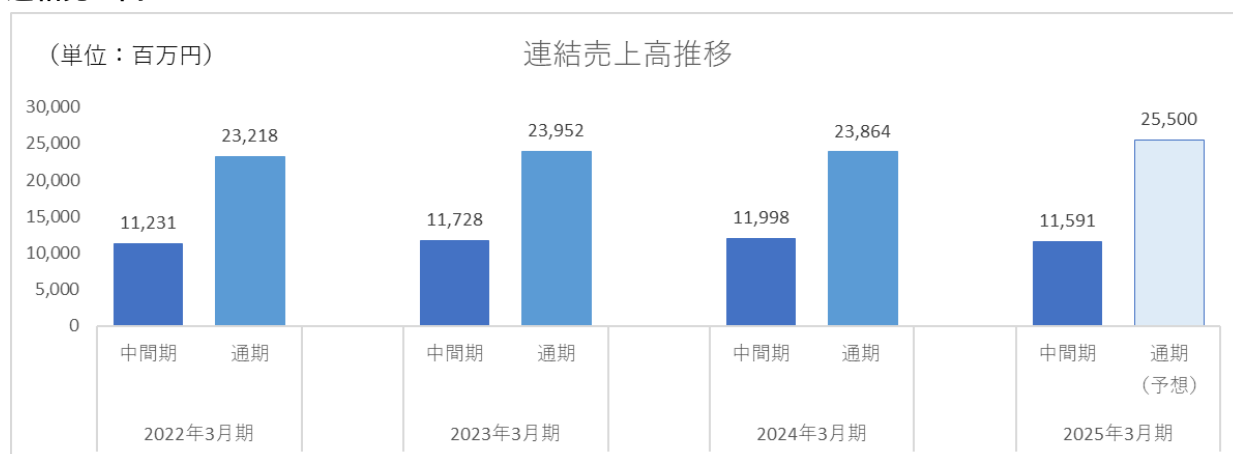
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当中間連結会計期間>

連結売上高は、フィナンシャル IT サービス事業におけるシステム開発案件の減少等により、11,591 百万円（前年同期比 3.4%減）となりました。通期予想（25,500 百万円）に対する進捗率は、45.5%となりました。

<2024 年 3 月期（通期）>

- フィナンシャル IT サービス事業及び流通 IT サービス事業が縮小したこと等により減収（前年同期比 88 百万円減）。なお、HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業は、予定通り拡大し増収

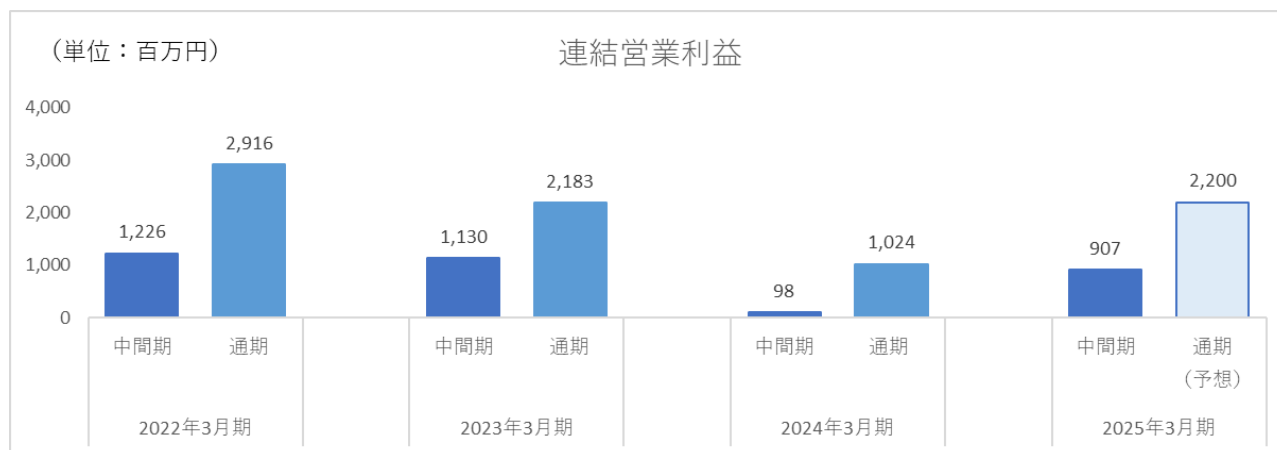
<2023 年 3 月期（通期）>

- HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比 733 百万円増）

<2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

■連結営業利益



<当中間連結会計期間>

連結営業利益は、前中間連結会計期間に受注損失引当金を計上しており、当中間連結会計期間においては受注損失等の臨時的要因は発生していないこと等により、907百万円（同823.4%増）となりました。通期予想（2,200百万円）に対しては、進捗率41.3%となりました。

<2024年3月期（通期）>

- HULFT事業が順調に増益となった一方で、流通ITサービス事業において受注損失引当金を計上（前年同期比1,159百万円減）

<2023年3月期（通期）>

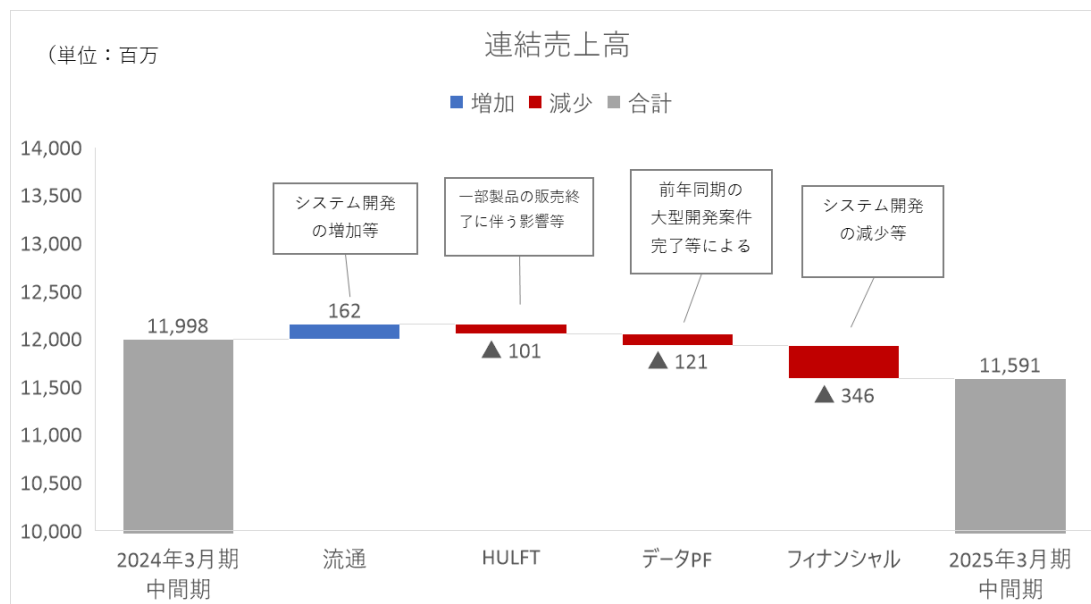
- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比732百万円減）

<2022年3月期（通期）>

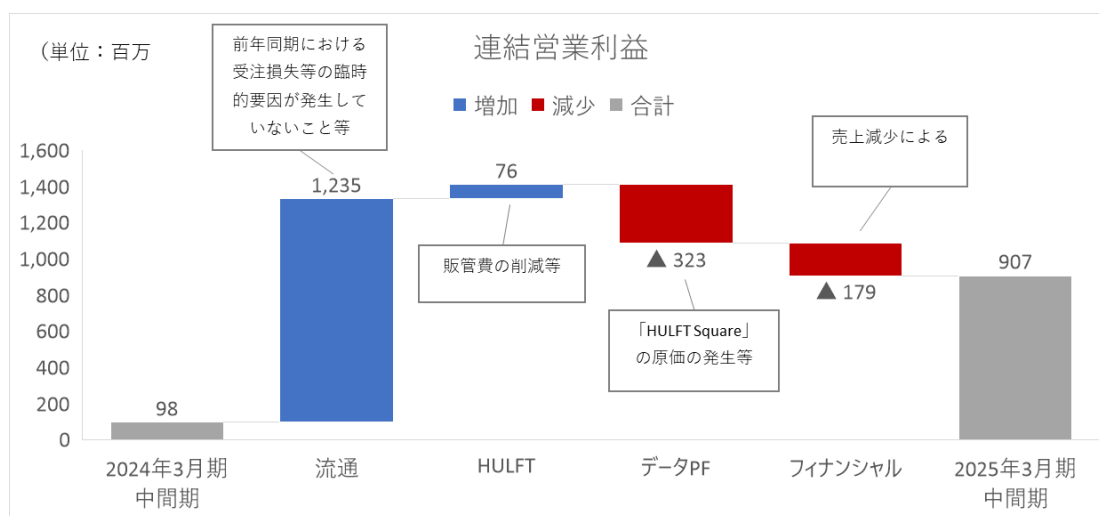
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比72百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※ セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

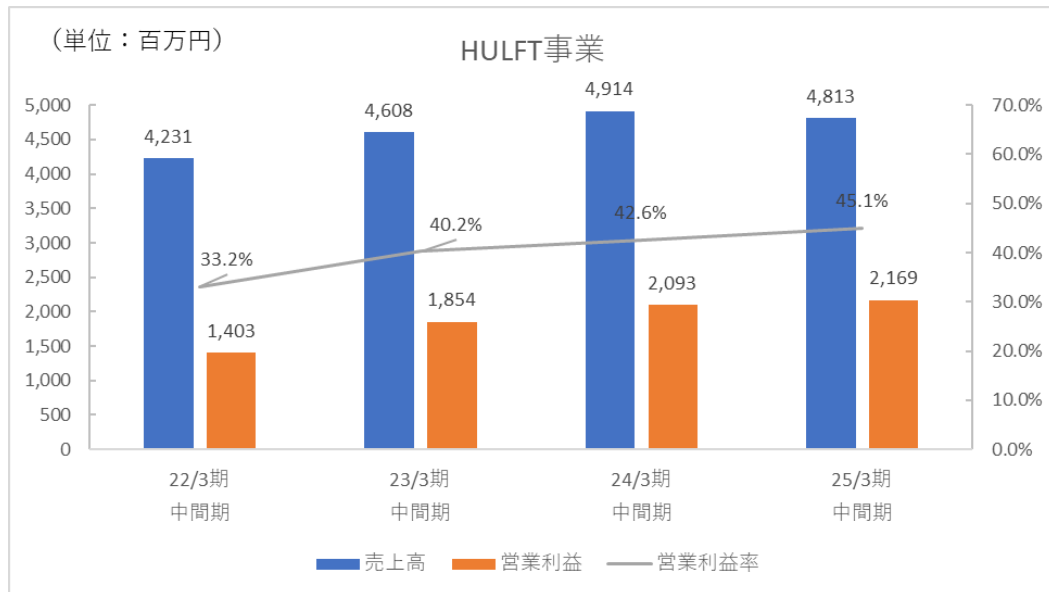
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

フィナンシャル：フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当中間連結会計期間>

- 一部製品（「Dataspider Cloud」）の販売終了に伴う影響等により売上高減少（前年同期比 101 百万円減）
- 販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 76 百万円増）

<2024 年 3 月期中間連結会計期間>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 306 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 238 百万円増）

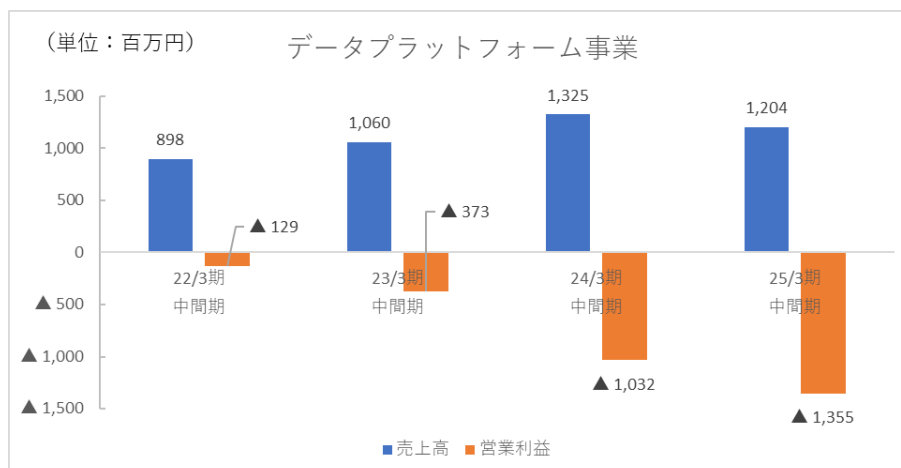
<2023 年 3 月期中間連結会計期間>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、「HULFT」「DataSpider」のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 376 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 451 百万円増）

<2022 年 3 月期中間連結会計期間>

- 「HULFT」「DataSpider」のライセンス販売が回復したこと及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 93 百万円増）
- 生産性の向上により営業利益増加（前年同期比 113 百万円増）

② データプラットフォーム事業



2023年3月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当中間連結会計期間（データプラットフォーム事業）>

- 前年同期に行っていた大型のデータ連携基盤構築案件が完了したこと等により売上高減少（前年同期比 121 百万円減）
- 「HULFT Square」の開発に伴う原価の発生等により、1,355 百万円の営業損失（前年同期は 1,032 百万円の営業損失）

<2024 年 3 月期中間連結会計期間（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 264 百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の計上等により 1,032 百万円の営業損失（前年同期は 373 百万円の営業損失）

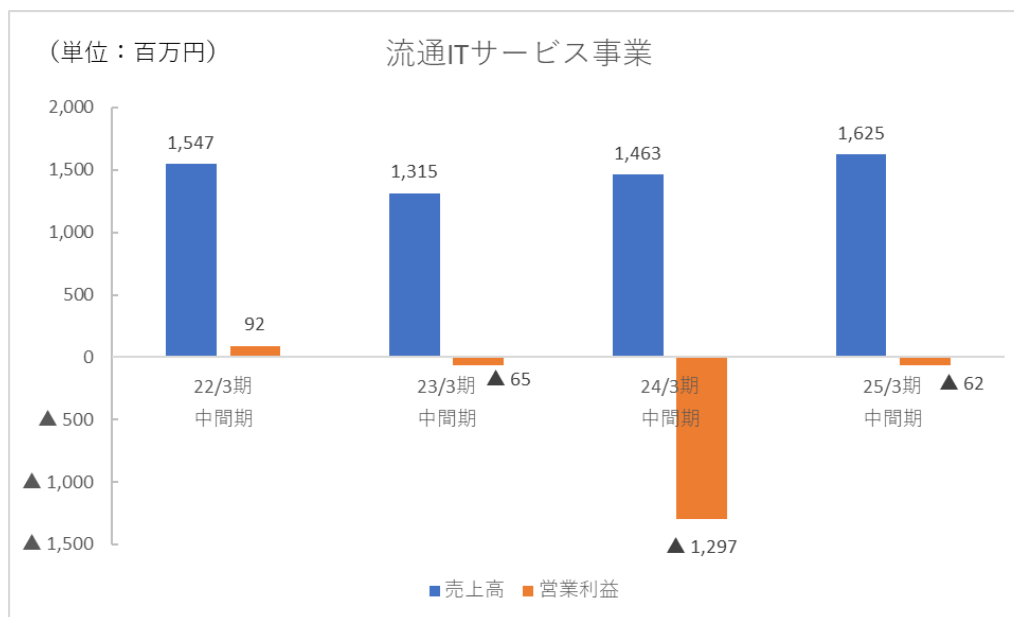
<2023 年 3 月期中間連結会計期間（データプラットフォーム事業）>

- モダンファイナンスサービス及びモダンマネジメントサービスの売上拡大等により売上高増加（前年同期比 162 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 373 百万円の営業損失（前年同期は 129 百万円の営業損失）

<2022 年 3 月期中間連結会計期間（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 343 百万円増）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加等に伴うコストが増加したことにより 129 百万円の営業損失（前年同期は 289 百万円の営業損失）

③ 流通 IT サービス事業



<当中間連結会計期間>

- システム開発案件の増加等により、売上高増加（前年同期比 162 百万円増）
- 前中間連結会計期間に受注損失引当金を計上しており、当中間連結会計期間においては受注損失等の臨時的要因は発生していないものの収益性の低下等により 62 百万円の営業損失（前年同期は 1,297 百万円の営業損失）

<2024 年 3 月期中間連結会計期間>

- お客様の IT 投資が回復してきたこと等により売上高減少（前年同期比 147 百万円増）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額 1,272 百万円を売上原価に計上したこと等により 1,297 百万円の営業損失（前年同期は 65 百万円の営業損失）

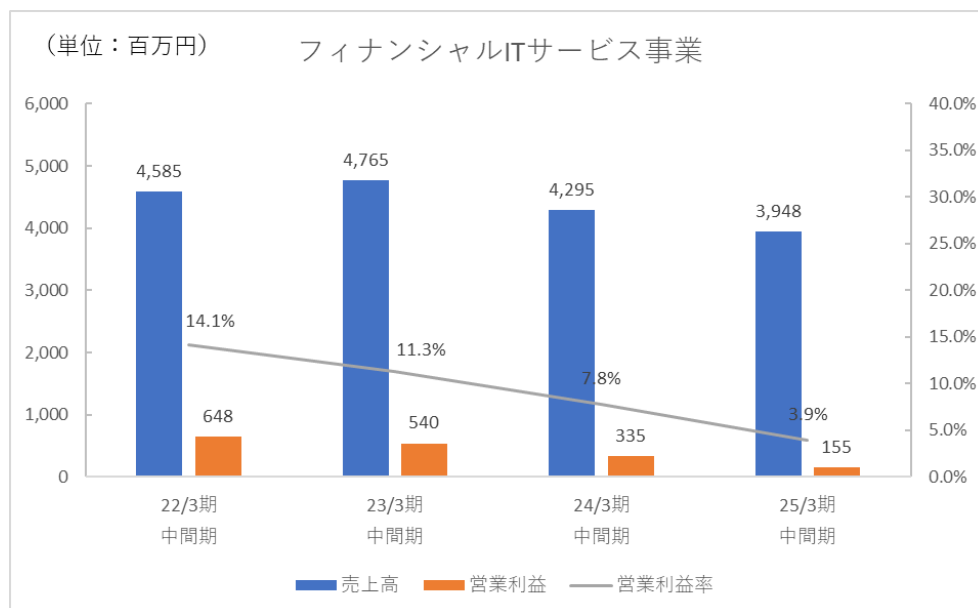
<2023 年 3 月期中間連結会計期間>

- 当社の強みが活きる DX 領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比 231 百万円減）
- 売上高の減少に伴い 65 百万円の営業損失（前年同期は 92 百万円の営業利益）

<2022 年 3 月期中間連結会計期間>

- 一部のお客様において新型コロナウイルス感染症拡大による IT 投資抑制等の影響はありましたが、一方で積極的に DX を進めるお客様もあり、売上高増加（前年同期比 39 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 7 百万円増）

④ フィナンシャル IT サービス事業



<当中間連結会計期間>

- システム開発案件の減少等により売上高減少（前年同期比 346 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 179 百万円減）

<2024 年 3 月期中間連結会計期間>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 470 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 205 百万円減）

<2023 年 3 月期中間連結会計期間>

- 新規サービス提供が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 180 百万円増）
- 前年同期に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比 108 百万円減）

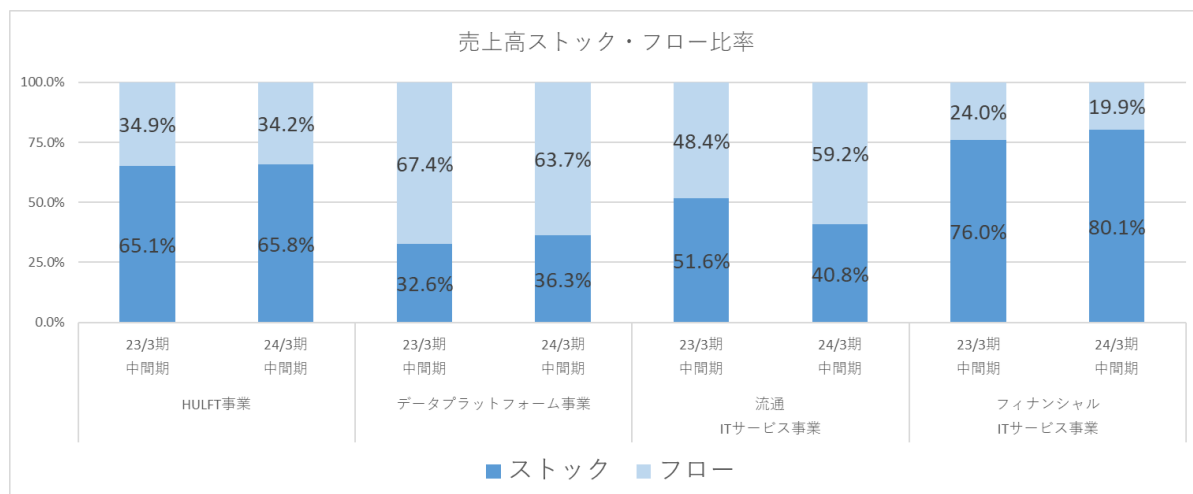
<2022 年 3 月期中間連結会計期間>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供が進展した一方、既存領域におけるシステム開発案件の減少等に伴い売上高減少（前年同期比 401 百万円減）
- 生産性の向上により収益性は改善しているものの、既存領域における案件の減少等により売上高が減少したことにより営業利益減少（前年同期比 14 百万円減）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2024 年 7 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）

FTP 比 8 倍(自社計測による参考値)の転送性能を実現した「HULFT」新バージョンの圧縮方式「Zstandard」 先行体験版の提供開始

- マネージド ファイル トランスファー（MFT）「HULFT（ハルフト）」の新バージョン「HULFT10」で新たに追加される圧縮方式「Zstandard」の先行体験版を、無償にて提供開始しました。

社員の睡眠改善にスリープテックの試験導入を開始 ～睡眠課題が指摘された社員には専門医の受診を支援～

- 社員の心身の健康向上を支援する一環として、脳波計測デバイス「InSomnograf（インソムノグラフ）」と AI（人工知能）技術を活用した睡眠検査の提供を 7 月より試験導入しました。「InSomnograf」は、株式会社 S'UIMIN が提供するデバイスで、自宅など普段と同じ寝室環境で利用可能で、睡眠時の脳波が AI により解析され約 20 の睡眠指標が一晩ごとに算出されます。社員は 5 日間の検査結果をもとに専門家による最終報告書を受け取ることができ、結果が一定基準に満たなかった場合は、専門医療機関の受診料の一部を会社が負担し睡眠改善を支援します。この睡眠診断の取組みを 40 歳以上の管理職を対象に導入し、順次対象を拡大していくことを予定しています。

Microsoft MVP Azure カテゴリを当社エンジニアが 5 年連続受賞

- Microsoft 社の表彰プログラム Microsoft MVP (Most Valuable Professional) の Azure カテゴリにおいて、当社エンジニアの河原慎吾が Microsoft MVP アワードを受賞しました。河原の受賞は、2020 年から 5 年連続となります。今回の河原の受賞を機に、会社全体でもさらに技術力強化に向けた取組みを加速させていきます。

新入社員の希望による配属実施 ～新入社員からの逆指名配属で新しい働き方を目指す～

- 営業本部に配属された 2024 年 4 月入社の新入社員が配属先の部門・課を自ら選び、希望を 100%反映させる取組みを実施しました。今回の取組みは、基本研修を経て 1 か月のみで営業本部すべての部門を回り、各部門の業務を具体的に体験する内容です。受入れ側も短期間での準備の必要があり負担の高い取組みではありましたが、新入社員、受入側の双方にとって充実した期間となりました。今回初めて実施した新入社員の希望による配属の成果を受け、今後は対象部門を拡大し全社的な取組みとして継続いくことも検討しています。

「HULFT Technology Days 2024」10月10日(木)より開催しました。

- 年次イベント「HULFT Technology Days（ハルフト テクノロジー デイズ）2024」を、2024年10月10日（木）に会場にて、16日（水）および17日（木）にオンラインにて開催し、生成AIやデータ活用に必要不可欠な考え方や先進的な取り組みの発表、およびそれらを支える最新テクノロジーとし HULFT Square をはじめとするデータ連携プロダクトのアップデート情報についてご紹介しました。

「第19回 日経 IR・個人投資家フェア 2024」に参加し、会社説明会を実施しました。

- 個人投資家様向けイベント「第19回 日経 IR・個人投資家フェア 2024」（主催：日本経済新聞社）に参加し会社説明会を行い、当社代表取締役 社長執行役員 葉山 誠より、IT 業界の動向や当社の取り組みについて紹介しました。

ファイル連携ミドルウェア『HULFT』21年連続国内市場シェア1位を獲得 ～ 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2024 年版」 ～

- ファイル連携ミドルウェアである『HULFT』が、株式会社富士キメラ総研から2024年7月に発行された「ソフトウェアビジネス新市場 2024 年版」のファイル転送ツール分野において、21年連続で国内市場シェア1位を獲得したことを発表しました。なお、同レポートにおける「2023年度データ連携ツール(EAI/ESB/ETL/iPaaS)」(iPaaS：『HULFT Square』など)のSaaS/PaaS カテゴリーにおいても、国内市場シェア3位の11.1%を獲得しています。

オフィス出社時のコミュニケーション促進にランチ代サポートの取り組みを開始 ～ 社内 SNS との連動でオンライン上のコミュニケーションの増幅も ～

- オフィス出社時の社内コミュニケーション促進のため、ランチ代の一部を会社がサポートする取り組みを8月より開始しました。今回開始したランチ代サポートは、当社の Our Values のひとつでもある「互いに尊重し会話する」ことの実践として、オフィス出社の際のコミュニケーションを促進することが目的です。

「Dreamforce 2024（9月17日～19日）」に出展しました。

- アメリカ、サンフランシスコで開催された Salesforce 社主催のカンファレンス「Dreamforce 2024」にスポンサーとして出展しました。「Unify Your Data Environment: Streamlined Integration with HULFT Square」をキーメッセージとして、日本発の iPaaS「HULFT Square」経由で Salesforce とさまざまな SaaS を連携することで、企業のデータ連携を加速し、DX 推進が可能になることをご紹介しました。

キヤノン ITS「EDI-Master Cloud」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始

- キヤノン ITS 社の企業間電子データ交換を実現するクラウド EDI サービス「EDI-Master Cloud」とセゾンテクノロジーの日本発 iPaaS クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始することを発表しました。キヤノン ITS の EDI に関する豊富な実績/知見と、セゾンテクノロジーのデータ連携領域における技術と経験を融合させることで、EDI データと企業内外のさまざまなシステムとのシームレスな連携および業務のオートメーション化を実現します。

営業利益 1%寄付でサステナビリティ経営を加速

- サステナビリティ経営を加速させるべく、2023 年度営業利益の約 1%相当を当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う 9 団体に寄付しました。当社は、寄付先団体を当社重点課題に知見を持つ専門家として捉えており、社員向けトークイベントへの招聘や、施設訪問、研修参加等を通じて、さらなる課題理解と双方の信頼関係の醸成に努めています。より良い未来に向けて、セゾンテクノロジーはこれからもさまざまなステークホルダーの皆さまと多面的な取り組みを進めてまいります。寄付の詳細と当社のサステナビリティに関する取り組みは、[公式サイト](#)もご覧ください。

セゾンテクノロジーと三菱 H C キャピタルエナジーが バーチャル PPA 契約を締結し取引開始 データセンターの脱炭素化を推進し再エネ導入率 100%へ

- 当社と三菱 H C キャピタルエナジー株式会社は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）電気に係る非化石証書譲渡契約（以下「バーチャル PPA」）を締結し、10 月 1 日より当社のデータセンターおよび西日本事業所で使用する電力に活用しています。社内で消費している電力量の約 90%を占めるデータセンター、そして西日本事業所においても バーチャル PPA を開始することで再エネ利用を拡大し、セゾンテクノロジーの脱炭素化を推進します。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾンテクノロジー

経営管理統括部 経営管理部

Tel：03-6370-2930

URL：<https://www.saison-technology.com/>